

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-98432

(43) 公開日 平成11年(1999)4月9日

(51) Int.Cl.[®] 認別記号

H 04 N	5/455
H 08 J	7/02
H 08 L	7/08
H 04 B	1/10
// H 04 N	7/20

F I
H 04 N 5/455
H 08 J 7/02
H 04 B 1/10
H 04 N 7/20
H 03 L 7/08

審査請求 未請求 請求項の数15 OL (全 21 頁)

(21) 出願番号 特願平9-253979

(71) 出願人 000004352

日本放送協会

東京都渋谷区神南2丁目2番1号

(22) 出願日 平成9年(1997)9月18日

(72) 発明者 渋谷 一彦

東京都世田谷区砧一丁目10番11号 日本放送協会放送技術研究所内

(72) 発明者 旗田 純二

東京都世田谷区砧一丁目10番11号 日本放送協会放送技術研究所内

(72) 発明者 岩曾 祐一

東京都世田谷区砧一丁目10番11号 日本放送協会放送技術研究所内

(74) 代理人 弁理士 三好 秀和 (外8名)

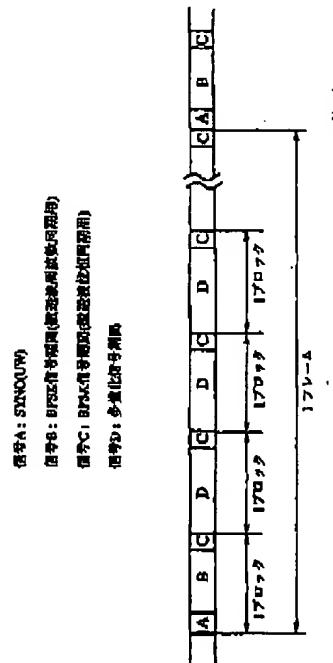
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 AFC回路、キャリア再生回路および受信装置

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、入力信号の同期期間が短いときにも、また入力信号にノイズが混入しているときにも、擬似同期などが発生しないようにしながら、前記入力信号に同期したキャリア信号を再生する。

【解決手段】 アンテナ2の受信動作、ODU3の周波数変換動作、粗調AFCブロック4の直交復調動作によってI軸側、Q軸側ベースバンド信号を生成しながら、微調AFC回路14を構成する位相検出回路17によって前記I軸側、Q軸側ベースバンド信号中のBPSK信号の位相差を検出するとともに、微分回路によって前記位相差を微分して周波数差に変換した後、この周波数差に基づき、NCO回路15の発振周波数を調整して、位相回転回路16の回転角を調整し、前記I軸側、Q軸側ベースバンド信号の周波数ずれ、位相ずれをゼロにする。



Best Available Copy